

学院各校 ICT 関連サポート業務

1. 概況

本業務は、池袋中学校・高等学校（以下、池袋中高）および新座中学校・高等学校（以下、新座中高）を対象に2015年4月に開始して2年目となり、さらに2016年4月から立教小学校へのサポート業務を担うこととなった。

1年間本業務に携わったことにより各システム環境と運用状況を把握し、また、サポートスキルも蓄積したため、本年度はインシデントに速やかに対応することができた。

本業務の一環であるインシデント対応は、池袋中高と新座中高いずれも昨年度と比較して件数が減少している。

本業務が初年度の立教小学校では、既存システムが安定稼働し、ベンダーの保守体制も整っており、本業務負荷の直接的な影響はなかった。

池袋中高においては、システム導入プロジェクトの推進メンバーとして関わり業務負荷が増大したため、これに備えてメディアセンター側の体制を強化した。

2. サポート状況

(1). インシデント対応

表1は、メディアセンターが対応した各校のインシデントの年間件数を表している。

本表では、各校から直接受けた要求を対象としており、学内関係部署や保守ベンダーを通じて対応したサポート業務は件数として計上していない。従って、立教小学校では0件となっているが、ネットワーク関連のサポート実績があることを補足しておく。

なお、メディアセンターにおける本業務のインシデント記録は、システム動作不具合の一次切り分けまでとなっている。（各校での保守ベンダーとの契約基準がメディアセンターと異なるため）

	2016年度			前年度		
	障害	要求	合計	障害	要求	合計
立教小学校	0	0	0	-	-	-
池袋中高	0	64	64	28	62	90
新座中高	0	16	16	15	28	43

表1：学院各校 インシデント件数（前年度との比較）

図1と図2は、池袋中高および新座中高における昨年度と2016年度の、インシデント月別件数を表している。いずれの学校についても、年間を通して前年よりインシデント件数が減少傾向であることがわかる。

件数が減少した要因として、池袋中高に関しては次の点が挙げられる。昨年度は教職員PCシステムにおいてインシデントが多発していたため、当システムの運用に関わって問題点を整理し、保守ベンダーと共にシステム構成の見直しやシステム監視を加えるなどの改善を図り、その効果が得られ本年度の件数が減少したのではないかと考えている。

新座中高に関しては、2015年度の段階から池袋中高と比較してシステム運用が安定していたが、システム担当が変わり1年経過して内部解決に留まるケースが増えていると推測している。

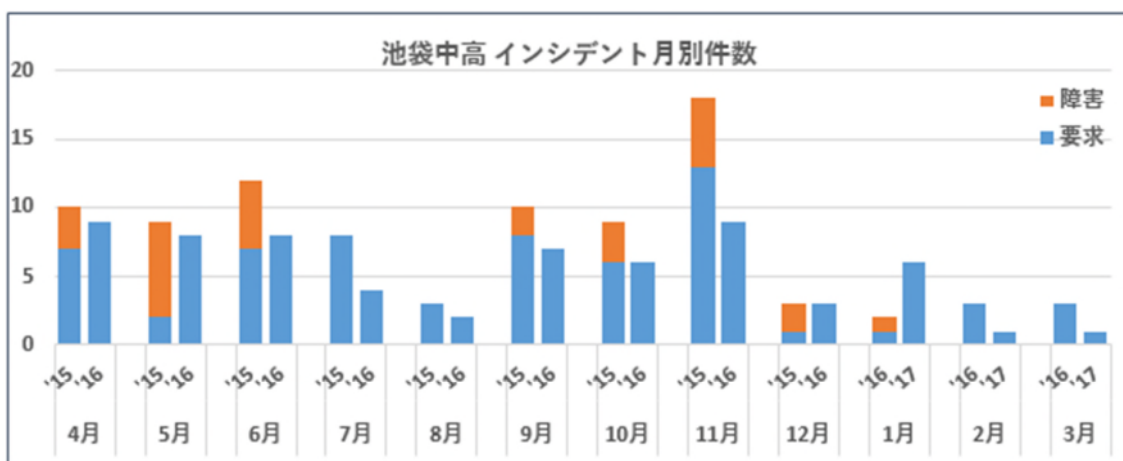


図1：池袋中高 インシデント月別件数（前年度との比較）

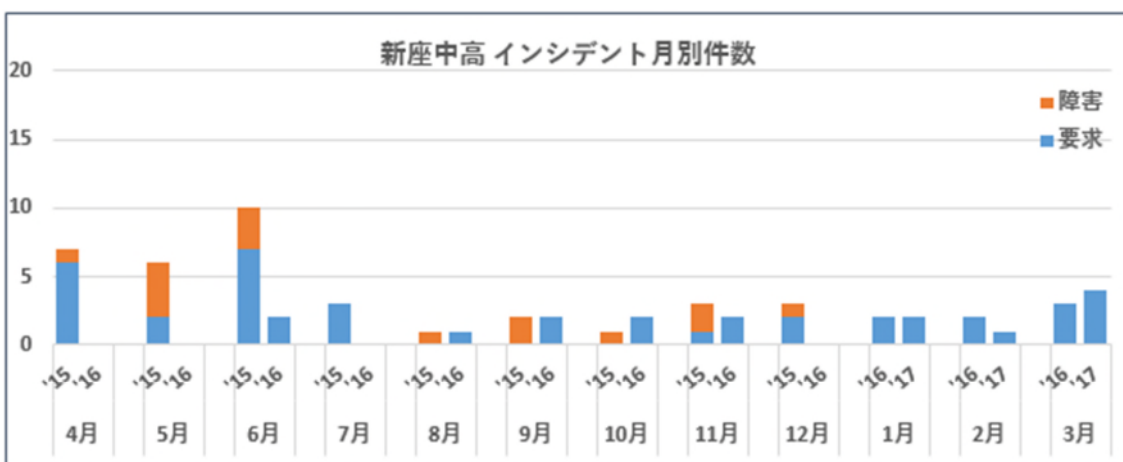


図2：新座中高 インシデント月別件数（前年度との比較）

図3と図4は、上記インシデントのコンポーネント件数を表している。池袋中高、新座中高いずれも昨年に引き続き教職員PCの割合が多いので、今後のシステム更新、機種更新を機に改善活動のサポートを行っていく。

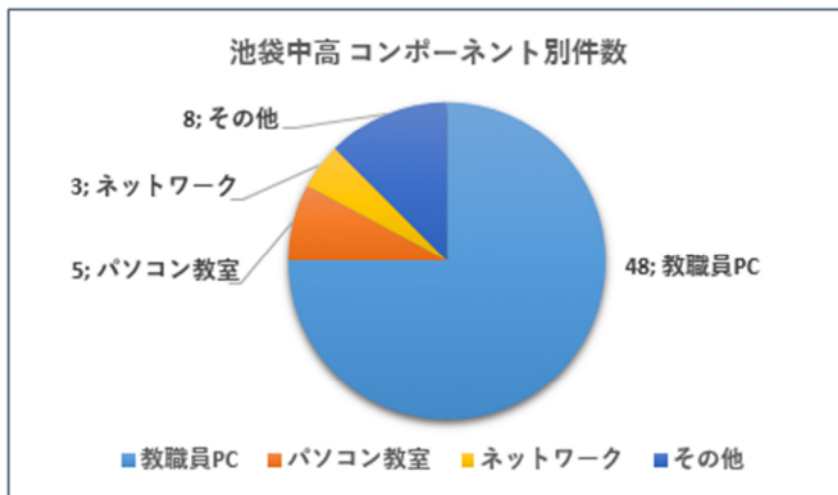


図3：池袋中高 コンポーネント別件数（2016年度）

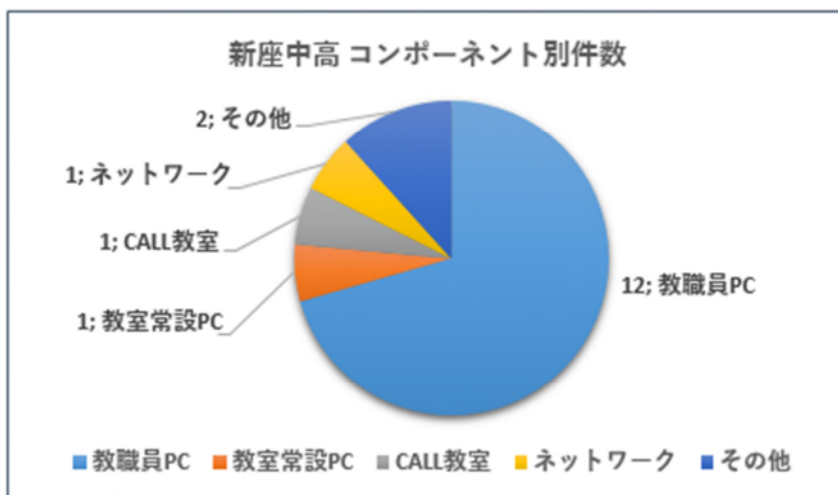


図4：新座中高 コンポーネント別件数（2016年度）

(2). システム導入プロジェクト参加

2016 年度は、既存システムのサポート業務に加え、池袋中高の各システム導入プロジェクトに企画検討の段階から関わり、提案依頼書の作成、システム選定、システム導入業務、納品検証等を中高担当者と共に行った。

2016 年度の池袋中高のシステム導入実績は、以下のとおりである。

- ① 構内 LAN ケーブル再敷設とネットワーク機器更改
 - a. 実施時期：2016 年 8 月
 - b. 概要
 - ・ 経年による既存 LAN ケーブルの再配線
 - ・ 無線 LAN 導入に向けた LAN ケーブル敷設
 - ・ 経年によるコアネットワーク機器更新
 - c. 対象エリア
 - ・ 既存棟：地下 1 階、1 階～5 階
 - ・ 新教室棟：1 階～4 階
 - ・ 体育館：3 階
- ② 情報教室 PC システム更改
 - a. 導入時期：2017 年 3 月
 - b. 概要
 - ・ 導入から 4～6 年経過した情報教室の PC システムと授業支援システムおよび視聴覚設備の更改。情報教室 A は、同時期に什器の入れ替えと床の改装も実施。
 - c. 対象
 - ・ PC システム：シンクライアント ネットブート方式
 - ・ 情報教室 A：教員卓設備、生徒機 PC 47 台
 - ・ 情報教室 B：教員卓設備、生徒機 PC 38 台
 - ・ 視聴覚教室：生徒機ノート PC 40 台（クライアント H/W は既存機を継続利用）
- ③ 図書館システム更新
 - a. 導入時期：2017 年 3 月
 - b. 概要
 - ・ 導入から 5 年経過した図書館システムのバージョンアップ
 - ・ クラウド型 OPAC サービスの導入
 - ・ 更新を期に検索用 PC を閲覧席エリアに常設（2 台）
 - c. 対象
 - ・ 図書館システム：サーバを大学仮想基盤に構築
 - ・ クライアント：司書端末 2 台、OPAC 端末 3 台、閲覧席常設 PC 2 台

3. 今後の課題

2017年度に各校で予定されているシステム導入は以下のとおりで、2017年度も引き続きシステム導入関連が本業務の大部分を占めることが予想される。システム導入の支援においては、本業務の開始当初より目的としていた学院の効率的なシステム運用および運用サポート見据えたシステム導入の観点に立ち、各プロジェクトでの役割を果たしていく。

なお、池袋中高では規模の大きなプロジェクトが複数並行して進められており、各プロジェクトでシステム面、利用面の関連性のある部分が見受けられる。効果的なシステム構成の検討に取り組みつつ一層慎重な判断が必要となる一方で、リリース時期に影響のないようプロジェクト管理およびユーザと導入ベンダーとあいだの調整役となってシステム導入を支援していく。

(1). 立教小学校

- ① 教職員 PC システム更新 [2017 年度末]

(2). 池袋中高

- ① 教職員 PC システム更改 [2017 年 8 月]
- ② 無線 LAN システム導入 [2017 年 8 月]
- ③ 校務システム導入 [2017 年度末]
- ④ 入試システム導入 [2018 年冬季]
- ⑤ 生徒用タブレット導入 [2017 年度末]

(3). 新座中高

- ① 教職員 PC 更新 [2016-2018 各年度春季]

以上